

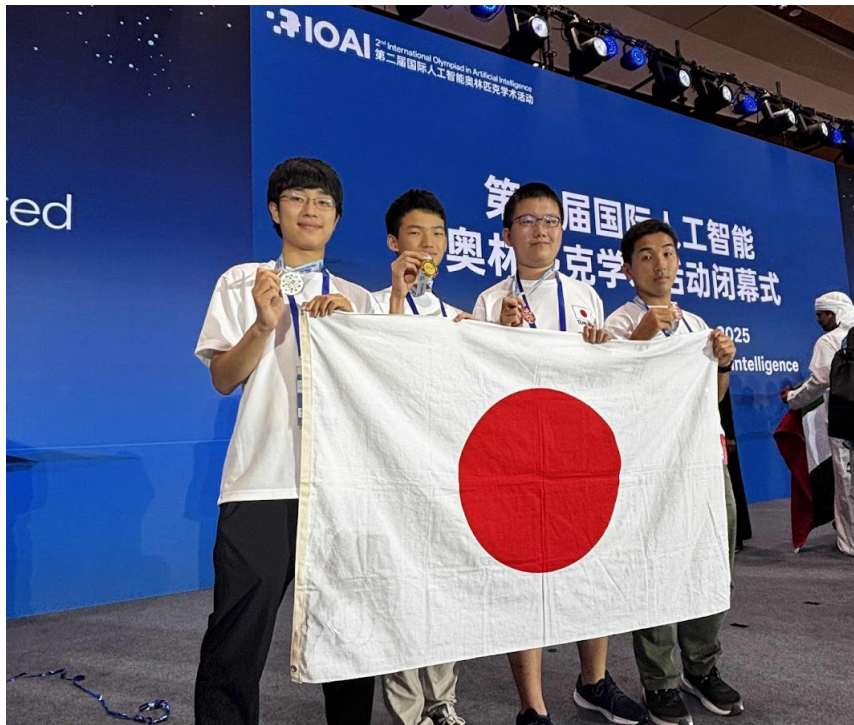
2025年8月10日

報道関係者各位

一般社団法人 国際人工知能オリンピック日本委員会

第2回国際人工知能オリンピック・中国大会 日本代表が金1・銀1・銅2のメダルを獲得！

8月2日（土）から9日（土）まで、中国・北京にて「第2回国際人工知能オリンピック（IOAI2025）」が開催され、一般社団法人国際人工知能オリンピック日本委員会（JOAI委員会）が派遣した日本代表選手団が、個人戦で金メダル1枚、銀メダル1枚、銅メダル2枚を受賞しました。これは国別の成績では8位、1チームのみを派遣した国の中では1位の成績となります。



【画像】閉会式・結果発表後のIOAI2025日本代表たち（2025年8月8日撮影）

■国際人工知能オリンピック（IOAI）について

国際人工知能オリンピック（International Olympiad in Artificial Intelligence, 略称 IOAI）は、国際科学オリンピックの1つで、中等教育修了以前の生徒を対象にした人工知能（AI）に関する国際大会です。世界各国から集う優秀な生徒に人工知能の無限の可能性を探究する機会を提供し、次世代のAIパイオニアを育成することを目的として、2023年に発足しました。

第2回目となった今大会は、国連教育科学文化機関（UNESCO）の後援を受け、中国・北京で2025年8月2日から9日まで開催され、日本を含む63の国・地域から80チーム、310名が参加しました。

第3回大会は、アラブ首長国連邦・アブダビで2026年夏に開催される予定です。

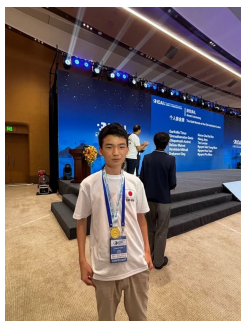
■IOAI2025日本代表選手団

日本からは、JOAI委員会が2025年5月に実施した「第1回日本人工知能オリンピック（JOAI2025）」の成績優秀者から、面接を経て以下の4名を今大会に派遣しました。日本のIOAIへの参加は、今回の第2回中国大会が2回目となります。

氏名 / NAME	所属校 / SCHOOL	学年	受賞
時田 直哉 さん	筑波大学附属駒場高等学校	3年	金メダル
TOKITA, Naoya	Senior High School at Komaba, University of Tsukuba		
鈴木 温登 さん	筑波大学附属駒場高等学校	3年	銀メダル
SUZUKI, Haruto	Senior High School at Komaba, University of Tsukuba		
付 聖宣 さん	聖光学院高等学校	3年	銅メダル
FU, Shengxuan	Seiko Gakuin High School		
山井 勇人 さん	開成高等学校	2年	銅メダル
YAMAI, Hayato	Kaisei Junior & Senior High School		

※学年は2025年8月10日時点

【受賞コメント】



■ 時田 直哉

私は今回の大会が最初で最後のIOAIでした。1日目はスコアが伸び悩みましたが、気持ちを切り替えて2日目に取り組んだことで、最終的には金メダルを獲得することができ、一安心しています。競技面以外でも北京のみならず様々な地域の文化を体験することができ、良い経験となりました。関係者の皆様、及び応援してくださった皆様に感謝申し上げます。



■ 鈴木 温登

この北京大会は私にとって2度目の、そして最後のIOAIでした。1日目は採点サーバーのバグもあり苦戦したものの、2日目は問題との相性も味方し高得点で終わることができ、何とか銀メダルを掴むことが出来ました。金メダルには及ばなかったものの、昨年以上の結果に強い達成感を感じています。引率の方々をはじめとしてサポートしてくださったJOAI委員会の皆様、応援してくださった皆様、本当にありがとうございました！



■ 付 聖宣

たくさんの外国の方に囲まれ、6時間という時間制限やネットへのアクセス制限がある中、プログラムを書くのは難しいと感じる一方で、人間としての実力を問われているようにも思えました。こんな経験はきっとIOAI以外ではまず得られなかったし、これからの人生でもほとんど機会はないと思います。なので、このような機会を私に与えてくださったJOAI委員会、そして7日間に渡ってサポートしてくださった引率者、現地ボランティアの皆様には感謝してもし尽くせない思いです。今年の銅メダルという結果の悔しさを来年晴らせないのがこの上なく残念ですが、この悔しさをバネに今後もAIの勉強や研究に奮励して参ります！



■ 山井 勇人

私はこれまで独学でAIを学んできたのですが、IOAIへの出場を通して視野が大きく広がりました。日本代表の仲間から大きな刺激を受け、努力を重ねた結果、銅メダルを獲得することができました。また、各国の代表との交流は非常に貴重な経験となりました。今後は独学だけでなく、日本や世界の仲間とさらにAIを学びたいです。このような素晴らしい機会をくださったJOAI、IOAIに関わるすべての方に感謝申し上げます。

■競技内容

IOAI2025では、「チームチャレンジ (Team Challenge) 」と「個人戦 (Individual Contest) 」の2部門で競技が行われました。

【チームチャレンジ (Team Challenge) 】

ロボットの実用的な制御技術を評価する本部門は、2つのパートで構成されています。まず、大会に先立って各チームで「事前課題」に取り組み、基礎技術を身につけます。続く大会当日のシミュレーションフェーズ (Simulation Phase) では、5時間という限られた時間の中で、シミュレーション環境で動作するプログラムを開発しました。上位10チームは実機実装フェーズ (Real Robot Deployment Phase) で実際のロボットへ実装を行い、実機検証フェーズ (Real Robot Validation Phase) にてその性能の検証が行われました。

【個人戦 (Individual Contest) 】

AIの開発能力が試される本部門では、参加者はPythonなどを駆使してAIモデルを構築し、その精度を競います。今大会では、古典的機械学習、ディープニューラルネットワーク、コンピュータビジョン (CV) 、自然言語処理 (NLP) などの領域から問題が出題されました。競技は2日間にわたり、1日目は事前課題を応用・発展させた問題、2日目は思考の瞬発力が問われる完全初見の問題が出題され、参加者たちの深い知識と柔軟な対応力が試されました。

■賞の授与基準

IOAI2025のメダルは主に個人戦 (Individual Contest) に対して授与されます。金メダルはスコア上位約1/12、銀メダルは上位約1/4、銅メダルは上位約1/2の参加者に授与されます。また、その他にも個人戦2日間のうちどちらか片方の1日で上位50%を超える成績だった参加者には Honourable Mention が与えられます。

今大会では、成績上位142名 (金24名、銀47名、銅71名) にメダルが授与されました。

■当委員会について

一般社団法人国際人工知能オリンピック日本委員会 (JOAI委員会) は、IOAIに日本代表を派遣するため2024年に発足し、IOAI国際本部からの認証を受けた日本国内唯一の組織です。IOAIに参加する日本代表生徒の選抜・研修・派遣、および日本国内の人工知能に興味関心のある中高生・高専生の交流促進を目的としています。

発信元:

一般社団法人

国際人工知能オリンピック日本委員会

メール: japanioaistaff@gmail.com

HP: <https://ioai-japan.org/>

X (旧 Twitter): @JOAICommittee